

0. はじめに

1. これまでの取組

- (1) 我が国の水環境行政の歴史
- (2) 第一次環境基本計画以降の取組

2. 水環境の現状

- (1) 公共用水域における水質の現状
- (2) 水環境の現状と課題

3. 望ましい水環境像

4. 水環境保全の目標について

- (1) 人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)
- (2) 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目)
- (3) 水環境の総合的な指標

5. 水環境保全のための今後の取組

5-1 水環境に恵まれた社会の構築

- (1) 湖沼の水質改善
- (2) 閉鎖性海域の水質改善
- (3) 未規制の小規模事業場等からの負荷への対応
- (4) 面源負荷への対応
- (5) 新たな排水管理手法の検討
- (6) 排水規制の在り方に関する検討
- (7) 人と水のふれあいの推進
- (8) 水圏生態系の保全と生物多様性の確保
- (9) 事業者の不適正事案への対応
- (10) 水質事故への対応
- (11) 地下水・土壌汚染対策
- (12) 海岸も含めた海洋環境の保全
- (13) 気候変動への対応

5-2 水環境分野の海外展開

- (1) 地球規模で深刻化する水問題への国際貢献
- (2) 水環境ビジネスの海外進出支援

5-3 水環境戦略を推進する基盤づくり

- (1) 水環境のモニタリングとデータの蓄積・情報共有
- (2) 人材育成
- (3) 技術開発・技術活用普及
- (4) 環境教育・普及啓発
- (5) 統合的な環境管理の検討
- (6) 施策のマネジメントサイクルの確立

6. おわりに

0. はじめに

1. これまでの取組

- (1) 我が国の水環境行政の歴史
- (2) 第一次環境基本計画以降の取組

2. 水環境の現状と課題

- (1) 公共用水域における水質の現状
- (2) 水環境をとりまく現状と課題

3. 水環境の4つの視点 -水環境保全の取組にあたって-

4. 望ましい水環境像

5. 水環境保全の目標について

- (1) 人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)
- (2) 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目)

6. 水環境保全のための今後の取組

6-1 早急に解決すべき課題

これまで進めてきた水環境行政について、引き続き取り組んでいくもの

- (1) 湖沼の水質保全
- (2) 閉鎖性海域の水質改善
- (3) 事業者の不適正事案への対応
- (4) 水質事故への対応
- (5) 地下水・土壌汚染対策
- (6) 海洋環境の保全
- (7) 水問題の国際貢献
- (8) 未規制小規模事業場
- (9) 生活排水対策(水とのふれあいを含む)
- (10) 面源負荷

6-2 現在検討を進めている取組

昨今の状況を踏まえた上で、よりレベルの高い水環境を目指して、具体的な成果を出すべく現在、取り組んでいるもの

- (1) 環境基準の見直し:底層DO、透明度、大腸菌等
- (2) 排水規制のあり方:自然由来、バイオアッセイ等
- (3) 気候変動への対応
- (4) 水ビジネスの海外展開

6-3 これからの時代に向けた水環境行政の展開

- (1) 生物多様性の確保と水圏生態系の保全
 - ・生物多様性を視野に入れた環境基準
- (2) 地域特性を的確に把握できる水環境指標
 - ・住民参加型の目標設定と持続的な保全

6-4 水環境戦略を推進する基盤づくり

- (1) 水環境のモニタリングとデータの蓄積
- (2) 人材育成
- (3) 技術開発・技術活用普及
- (4) 環境教育・普及啓発
- (5) 統合的な環境管理の検討
- (6) 施策のマネジメントサイクルの確立

7. おわりに

